

12月定例会・太田議員の一般質問



米原市民報

日本共産党米原市議団
清水隆徳Tel52-1969
藤田正雄Tel55-1128
太田幸代Tel54-2286

<http://www.jcp-maibarashigidan.com>

まいちゃん号・カモン号の運行の改善を

12月6日に一般質問が行われ、日本共産党議員団の3番目に太田議員が質問に立ちました。一般質問の概要と答弁については次のとおりです。

デマンドタクシー改善は市民の強い要望

完全予約制の乗合タクシー制度があり「まいちゃん号」は米原（醒井・息郷地域を除く）・近江地域、「カモン号」は山東・伊吹（北部地域を除く）地域を基本として運行されています。市民からの要望が強いといことから運用改善を求めて質問します。

Q、高齢者や障がい者などの利用について減免制度の周知徹底をさらに図るべき。
A、70歳以上の高齢者は3分の1、かつ、障がい者は2分の1を助成で、年間延べ1,200人の方に利用いただいている。今後、現行の助成制度について、市民の皆様へお知らせを徹底していきたい。

Q、「まいちゃん号」と「カモン号」の運行エリアに、醒井・息郷地域と伊吹北部を加え、市内全域を網羅できるよう改善は。
A、平成27年度から市内の地域公共交通の改善に向け、聞き取り調査等を実施している。今後、この調査結果を踏まえ、運行エリアの拡大など運行の改善を図っていききたい。

Q、利用者を増やすために、子ども料金を無料にしては。
A、料金の無料化ではなく、利便性の向上、利用者負担の検討も含め、誰もが利用しやすい地域公共交通システムを構築していくことを考えたい。

インフルエンザ予防接種に助成制度を

Q、「まいちゃん号」と「カモン号」の運行を統一し、自由に乗り入れすることはできないか。
A、カモン号の運行方式の改善は必要と考え、まいちゃん号のようなエリア運行への移行も含め、乗合タクシーの利便性向上を図りたいと考えている。

毎年インフルエンザが猛威を振るっている。現在65歳以上の高齢者には、国の制度でインフルエンザ予防接種の補助制度があり、1回2,060円で受けることができ大変喜ばれています。一方、子どもの予防接種にはこうした補助がないため、費用の負担が大変です。経済的な理由で接種をあきらめる家庭もあると聞き以下の質問をします。

Q、市立長浜病院や長浜赤十字病院への乗り入れは必要ではないか。
A、市外の総合病院への直接乗り入れについて、市民からの要望は高いと把握しております。市としては、市民の通院だけではなく、通勤、通学、そして買い物支援も含めた運行システムを検討している。

Q、最低でも5日は自宅療養となります。子育て中の保護者は、仕事を休まなければなりません。小中学校において集団予防が必要であると感じていますが、毎年インフルエンザの影響で、休校、学年・学級閉鎖は何校くらいありますか。
A、平成27年度が、小学校で19学年・11学級の閉鎖、

中学校は3校で7学年・3学級の閉鎖でした。
Q、子育て支援のためにも、集団感染による学級閉鎖などを少なくするためにも、中学生までのインフルエンザ予防接種の公費助成制度を創設は。
A、過去にインフルエンザ予防接種の集団接種が実施されました。平成6年

Q、高齢者の肺炎球菌予防接種率と目標値は。
A、接種率は、平成27年度47・2%で、滋賀県平均の43・9%よりも高くなっています。なお、目標値については、定めはありません。

Q、自己負担額が少なければ接種率の向上が図られ、予防接種による医療費削減効果も大きくなると考えます。高齢者が受けられる公費助成を拡充できないか。
A、現在、医療機関にお支払いする予防接種委託料8,670円のうち、自己負担金は2,600円です。この金額は県内平均です。免除対象者や定期接種以外の対象者への公費助成の拡充は考えていない。



雑感

20日の議会最終日、原発事故による避難者用無償住宅支援の継続を求める請願が僅差で採択されました。自主避難者の切実な要求で、来年3月に政府と福島県は打ち切りを予定しています。「放射能汚染」や「いじめ」など自己責任でないことでこのような仕打ちは許されません。国民の命と暮らしを守ることが政治の役割では。詳細は次号で。